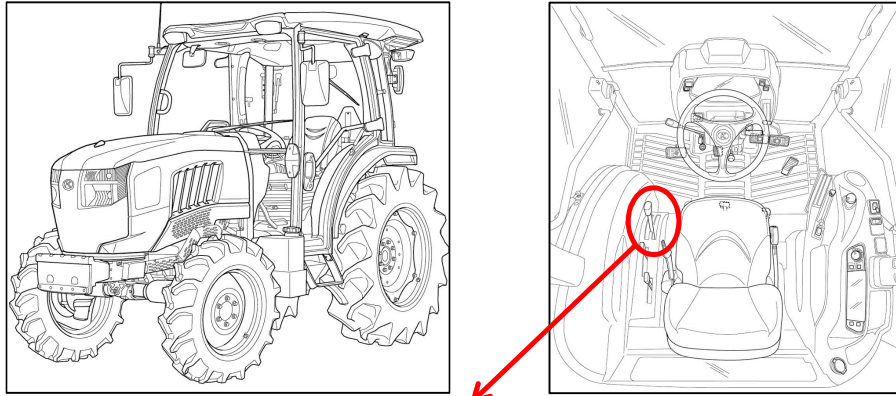


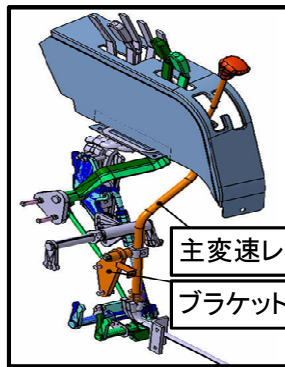
改善箇所説明図：



不適合発生箇所
主変速レバー



・3速に入った状態で、中立位置に入っているように見える。



・主変速レバーとブラケットを交換、または再検査し、レバー位置を確認する。

注：□ は交換部品を示す。

不具合の内容：

農耕トラクタのマニュアルシフト仕様の主変速レバーの形状が不適切なため、主変速が3速に入った状態でレバーが中立位置を示しているものがある。そのため、3速に入った状態をオペレータが中立と間違い、クラッチをつないだ際、意図に反してトラクタが発進するおそれがある。

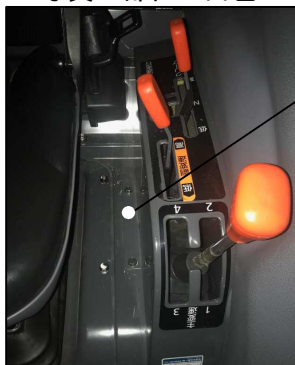
改善の内容：

全車両、主変速レバーとレバーブラケットを対策品に交換し、レバー位置の検査を実施する。但し、既に対策品が組込まれた車両については、レバー位置の検査のみ実施する。

通称名	レバー対策品変更前	レバー対策品変更後
SL38HQ	30320～31071(18台)	31233～31393(2台)
SL38Q	30351～31006(5台)	31315(1台)
SL45HQ	30323～31019(19台)	31088～31392(10台)
SL45Q	30328～30853(4台)	31335(1台)
SL54HQ	30343～31162(28台)	31242～31594(16台)

改善後の識別：

下の写真の部位に白色マーキングを実施する。



レバーガイド取付けボルト間の
車両後側のボルトの前